

CONCERT  
UNIT

コンサート ユニットとは、演奏者と会場をつくる造形家で構成される。音楽や美術がより身近な、成り立ちのわかりやすい空間を作り出し、子供たちや学生、広く一般へメッセージをおくる。そして定期的な出合いの場をつくり、それを育て、街をむすぶ。

TERRE...地球

風の音がきこえる  
魂のざわめき  
水がながれる  
生きものたちのいとなみ  
時がゆく  
ゆっくりと終わることはなく……

# 中山耕一&平佐 修 フルート&ギターデュオ コンサート

## 演奏者

中山耕一/フルート  
平佐 修/ギター

## 造形家

角 敏憲/染色、パート・ド・ヴェールグラス  
角 寿子/ファイバーアート

## ■コンサート日程■

7/17(水)・函館/ 聖ヨハネ教会 PM6:30~  
TEL0138-27-2961 チケット¥1,500

7/27(土)・音更/音更町文化センター PM6:30~  
TEL01238-4-2705 チケット大人¥2,000

・小中高生¥1,500・親子(大人1+小中高生1)¥3,000

主催/TERRE 後援/株式会社クリーンリバー

## プログラム

F. カルリ ●二重奏曲 Op.104-3 J. S. バッハ ●ソナタ BWV1033 その他 — 休憩 —

C. ドビュッシー ●亜麻色の髪の乙女 M. ラヴェル ●なき女王のためのパヴァーナ M. ジュリアーニ ●ソナタ Op.85 その他





# CONCERT UNIT

## 中山耕一(フルート)

1954/札幌生まれ、フルートを12歳より小松正悟氏に師事

1977/早大卒業、渡欧(在京中、吉田雅夫氏に師事)

1977~スイス・ヴィンタートウル音楽院に  
1982 　C・クレムに師事

1982~チューリヒ高等音楽院にてG・ルンペ  
1985 　ルに師事

1980~チューリヒにてA・ジョネに師事  
1988

1882~チューリヒ室内管弦楽団にてギリシャ、  
1985 　フランスの演奏旅行を含め演奏

1985~チューリヒ・トーンハレ管弦楽団に客  
1988 　員奏者として演奏、その他カメラータ・  
　　チューリヒの一員としてバリトンの  
　　エルスト・ヘフリガーとの録音やコン  
　　サート等、スイス国营放送、オースト  
　　リア国营放送の為に録音

オランダ現代音楽祭・ストラスブール  
・パッサ祭参加

## 平佐 修(ギター)

札幌出身。15歳の頃より、独学でギターを始める。1960年より70年まで大塚房喜氏に師事。72年まで代教を勤める。73年、札幌有志の賛助出演を得、協奏曲を含むプログラムでソロリサイタル、遠藤一巳氏(リコーダ)とのジョイントリサイタルを開催以後、リサイタル7回。75年には、在道ギタリストとして初めて東京においてリサイタル、北電コンサートホール「ギターと室内楽の夕べ」に出演。82年には、アメリカ・ロサンゼルスにおいて朗読と自作品によるプログラムで一週間公演。また、86年には、細川順三氏(現N響フルート奏者)とのデュオコンサートを開催。88年には、札幌第290回定期演奏会に、エキストラ出演している。

76年より、サロンコンサート「バロックコンサート」を開始、30回まで主宰。(現在140回を数えている)ほか、札幌市・内外のサロンコンサートに、ソロ・室内楽等数多く出演している。現在、全15回の予定で「ギター室内楽シリーズ」を企画、第8回まで終了している。H・ゴンザレス・モイノー、R・S・デ・ラ・マーサ、N・イエペス、L・ブローウェル各氏にも学ぶ。

## 角 敏憲・寿子(造形作家)

1955/敏憲は釧路、寿子は札幌生まれ

1980/染織活動開始(広島市)

1984/北の藍染織工房設立(帯広市)、以降毎年個展

1988/長沼町アトリエハウス入居(~90・11)

1989/布の意志「コスモス」発表  
渡欧、工芸研修  
布と和紙の造形「宇宙のひも」発表

1990/第1回ながぬまアート&クラフト展参加  
16m タピストリー「TERRE」プロジェクト開始

1991/パリ個展(9・28~10・12)

以上

# CONCERT UNIT

お 問 い 合 せ

■函館/ギャラリー村岡 TEL0138-27-2961

■音更/TERRE TEL01238-4-2705